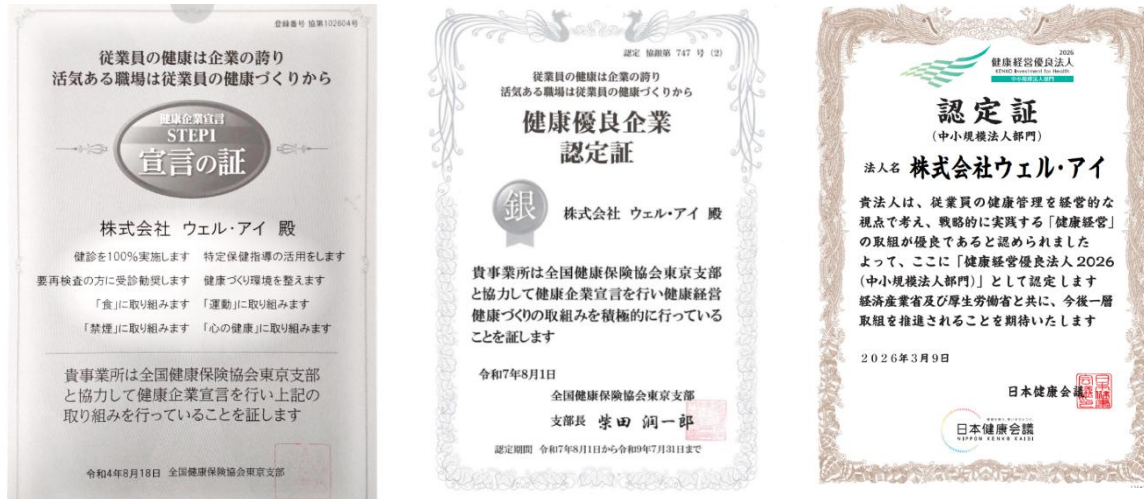


株式会社ウェル・アイの健康経営への取り組み

2026 年 10 月 吉日

弊社は 2022 年 8 月 18 日に「健康企業宣言」をし、健康経営に取り組み始めました。翌年 2023 年 7 月 28 日に協会けんぽ東京支部の「銀の認定」を取得し、2024 年に初めて健康経営優良法人（中小規模法人部門）に認定され、2026 年まで 3 年連続で認定を取得しています。



【株式会社ウェル・アイの健康経営の目的・戦略】

1. 健康経営で解決したい経営上の課題

株式会社ウェル・アイは、「従業員の心身の健康を基盤とし、やりたいことをやり抜ける職場環境を実現する」ことを健康経営における経営方針としています。この方針のもと、ウェル・アイで働くすべての人が満足して働ける環境づくりと健康増進を推進し、一人ひとりが最大限のパフォーマンスを発揮しながら、元気で長く活躍できる組織の実現を目指しています。

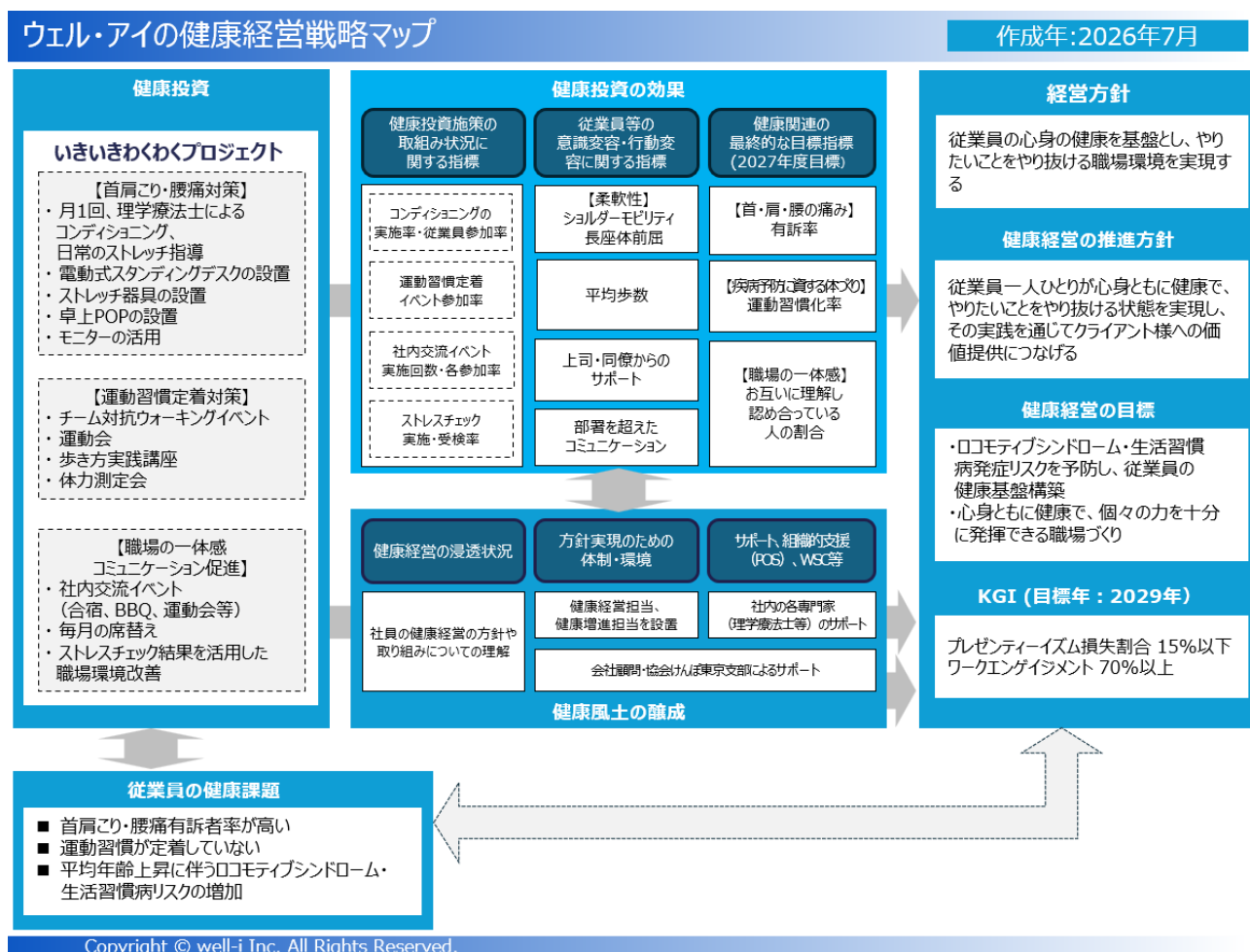
2. 企業のビジョンや理念の実現に向け、健康経営を通じて何を実現するかの方針

(=健康経営の推進方針)

私たちは、ビジネスを通じて「働いているだけ・住んでいるだけで健康になる社会の実現」というウェルビーイングインフラの構築を目指し、クライアント様における健康経営のご支援に取り組んでいます。その実現に向けて、健康経営の伴走者であると同時に、自らが健康経営の実践者・牽引者となり、企業理念である「心身ともに健康でやりたいことをやり抜ける生涯現役社会の実現」を体現します。実践から得られた知見や成果をクライアント様や社会へ還元し、提供価値の向上と健康経営の普及に貢献してまいります。

3. 健康経営の推進方針を定めた上で、健康経営の推進方針を実現するために達成したい目標
(=健康経営の目標)
- ロコモティブシンドローム・生活習慣病発症リスクを予防し、従業員の健康基盤構築する
 - 心身ともに健康で、個々の力を十分に発揮できる職場づくり
4. 健康経営の目標を設定した上で、健康経営の目標の達成状況を確認する指標とその達成目標年度
(=KGI) 及び健康経営全体の具体的な数値目標
- プレゼンティーズム損失割合 15%以下 (2029 年度)
 - ワークエンゲイジメント 70%以上 (2029 年度)
5. 健康経営全体の具体的な数値目標の設定に至った背景・根拠
- プレゼンティーズムとは、欠勤にはいたっておらず勤怠管理上は表に出てこないものの、花粉症や腰痛といった健康問題が理由で生産性が低下している状態をさします。SPQ (Single-Item Presenteeism Question 東大 1 項目版) を用いて、年に一度実施している社内アンケート内で測定しています。2025 年度社員アンケートの結果、プレゼンティーズム損失割合は 18% (仕事の出来の平均 82%) でした。この結果を踏まえ、従業員のパフォーマンス向上を目指して目標値を 15% 以下と設定しています。首肩こりや腰痛は業務中の集中力や生産性の低下につながることから、これらの改善を通じてプレゼンティーズムの改善を目指します。
 - ワークエンゲイジメントとは、仕事に関連するポジティブで充実した心理状態として、「仕事から活力を得ていきいきとしている」(活力)、「仕事に誇りとやりがいを感じている」(熱意)、「仕事に熱心に取り組んでいる」(没頭) の 3 つが揃った状態として定義されます。年に一度実施しているストレスチェックで測定しています。ストレスチェックの結果を踏まえ、現在の高いワークエンゲイジメント水準を維持・向上することを目標として設定しています。

6. 戦略マップ



7. 自社従業員の健康課題

- 首肩こり・腰痛有訴率が高い
- 運動習慣が定着していない
- 事業拡大に伴う人員構成の変化や平均年齢の上昇に伴うロコモティブシンドローム・生活習慣病リスクの増加

8. 健康課題の改善の具体的な数値目標

- 首肩こり・腰痛のない社員の割合 50%以上
- 1日の平均歩数が6000歩以上の社員の割合 70%以上
- 健康診断受診率 100%。体力測定会の従業員参加率 100%

9. 健康課題を解決するための具体的な取り組みの内容

【2024年度】従業員の運動不足解消のために、月2回程度、社内の健康増進時間を実施しました。アプリを通じて、年に3回ウォーキングイベントを開催しました。

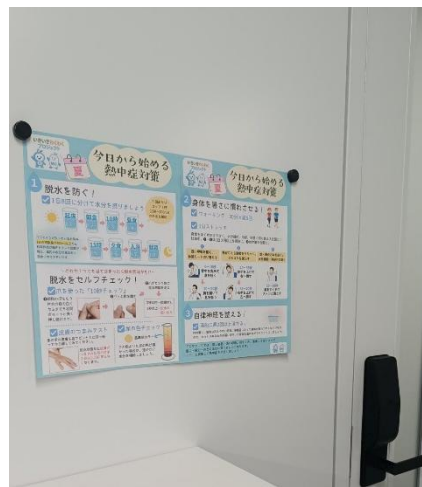
【2025年度】首肩こり・腰痛対策を強化し、従業員向けに自社所属の理学療法士によるコンディショニ

ングを実施しました。コンディショニングでは、肩こり・腰痛の緩和とあわせて、日常で実践できるストレッチ指導を実施しました。体力測定会を実施しました。

【2026 年度】引き続き、首肩こり・腰痛対策で、月に 1 度、従業員向けに自社所属の理学療法士によるコンディショニング、日常で実践できるストレッチ指導を実施しています。ウォーキングイベント、運動会の開催、ならびに体力測定会を実施しています。また、健康的な職場を推進するための環境整備として、電動式スタンディングデスクの設置、ストレッチ器具を社内に設置し、従業員の日々の健康維持・増進に努めています。更に、本年度新たな取り組みとして、理学療法士の資格を有する社員を中心に「いきいきわくわくプロジェクト」を立ち上げ、従業員アンケートや健康施策の実施状況を踏まえながら、健康課題の把握と健康リテラシー向上に取り組んでいます。また、健康に関する情報発信や企画を通じて、自ら健康づくりに取り組む意識の醸成を図っています。



社内設置の電動式スタンディング
デスク、ストレッチ器具



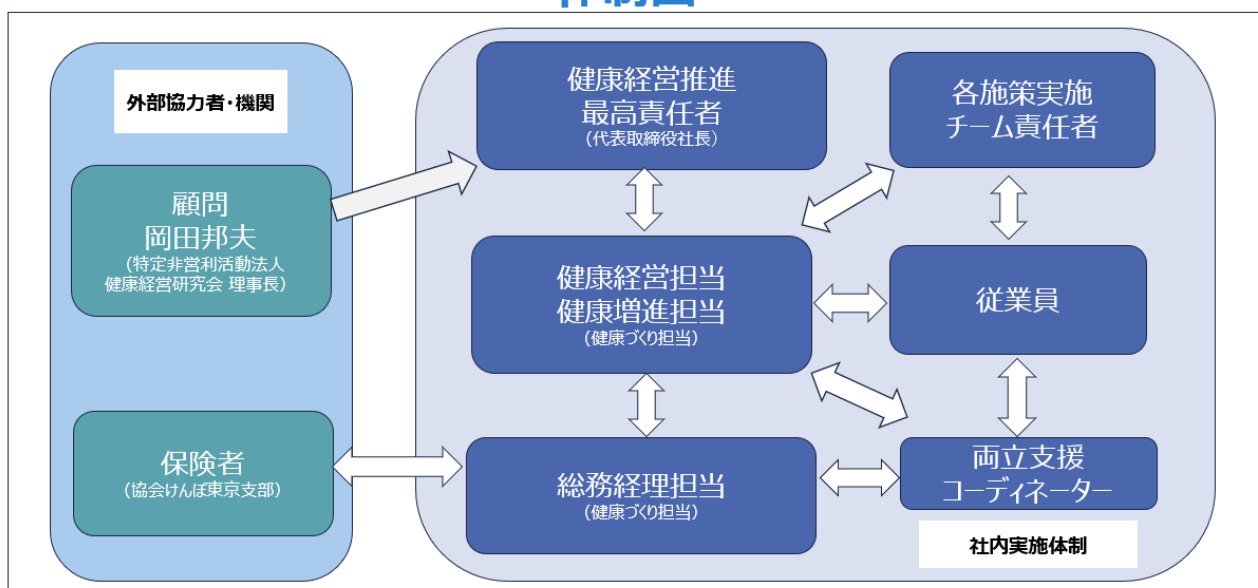
いきいきわくわくプロジェクトの健康情報発信社内掲示物

10. 健康経営の個別施策に対する投資額

健康経営に係る投資額・従業員一人あたり 75,000 円

11. 健康経営を企業横断的に取り組む体制整備の状況・健保組合等保険者との連携状況・従業員組織との情報共有や協議の状況

体制図



12. 従業員組織（労働組合や従業員代表等）との情報共有や協議の状況

健康経営支援に携わっている従業員を健康経営担当、理学療法士資格を有する従業員を健康増進担当として配置しています。

両担当を中心に、経営層との協議を踏まえながら、半期に一度開催する方針会議において健康経営の取組を紹介するとともに、半期ごとの方針会議や社内アンケートを通じて従業員の意見を収集し、施策の改善に反映しています。

これらの活動を通じて、健康経営の推進と従業員の健康増進に組織一丸となって取り組んでいます。

13. 健康経営の取り組みによる経年の効果

指標カテゴリ	具体的な項目	集計方法	2029 年度 目標	2025 年度 実績	2024 年度 実績	2023 年度 実績
1.健康経営の取り組み状況に関する指標	ウェル・アイの健康経営推進 *の満足度	社内アンケート	100%	54%	-	-
2.行動変容・意識変容に関する指標	運動習慣化率	社内アンケート	40%	31%	44%	-
3.生産性に関わる指標	プレゼンティーズム損失割合 (SPQ：100＝仕事の出来)	SPQ (Single-Item Presenteeism Question 東大 1 項目版)	15%以下	18%	25%	-
4.健康状態に関する身体的心理的指標	健康診断受診率	労働安全衛生法に基づく 定期健康診断受診率	100%	100%	100%	100%
5.就業に関する指標	女性比率	全従業員に対する女性比率	60%	64%	58%	70%
6.労働災害、死亡災害に関する指標	労働災害（業務中）件数	発生件数	0 件	0 件	0 件	0 件
7.KGI の達成状況	ワークエンゲイジメント	ストレスチェック	70%以上 維持	72%	73%	77%